

SS 研システム技術分科会 ICT フォーラム 2019

「それぞれの立場を満足させる教育情報システムとは」

～経営・教員・学生～

SS 研会員機関以外の方もご参加いただけます

- 日時 : 2019年8月30日(金) フォーラム 13:10~17:30 (受付 12:40~) / 懇親会 17:40~19:00
- 場所 : 富士通株式会社 本社 6階 プレゼンテーションルーム [東京都港区東新橋1-5-2 汐留シティセンター]
- 開催趣旨

情報システムを使った教育環境の整備は国内外において枚挙にいとまがない。教育情報システムの特長のひとつは、学習者が自由に選択できる時間と場所で、目的の学習を個別に深化させることにある。繰り返しの学習要求も無制限に応えることができる。しかしながら、これらのシステムを経営者層、教師層、学習者層の三視点から観るとその評価はまちまちである。たとえば、経営者層は構想通りであること、教師層は容易であること、学習者は利用に値すること、などそれぞれの立場で直面する課題に捕らわれがちである。魅力ある教育情報システムとは、数千人~数万人規の学習者がおのずと集い、教師層が潤沢な電子教材の開発に切磋琢磨し、経営者層の構想通りの学習成果を低コストに実現出来るべきである。本フォーラムでは、黎明期から成熟期にある複数の教育情報システムを例に、より大局的な視点で捉えた理想の教育情報システムの在り方、その現在と未来について、招待講演と闊達な自由討論を行う予定である。

- プログラム : (予告なく変更する場合がございます。あらかじめご了承ください)
 ※当日は講演概要のみ配付します。詳細資料はWeb サイトからダウンロード願います。-敬称略-

12:40~	受付開始 <div style="text-align: right;">[司会]上繁 義史 (長崎大学)</div>
13:10~13:15	開会あいさつ 長谷川 孝博 (静岡大学)
13:15~13:55	[1] 「『効果・効率・魅力』のある教育学習支援システムとは」 重田 勝介 (北海道大学) 国内の多くの大学で教育学習支援システム (Learning Management System : LMS) の導入が進んでいる。しかしながら、システム利用の普及や学習効果の向上、セキュリティ対策含めた安全性・安定性の確保には課題が多い。本講演では AXIES (大学 ICT 推進協議会) が実施した LMS 導入利用状況の調査、国内外の情勢、北海道大学における LMS 開発運用の取り組み等から、「効果・効率・魅力」のある教育学習支援システムのあり方について議論する。
13:55~14:35	[2] 「四国の国立5大学による e-Learning 連携」 林 敏浩 (香川大学) 四国5大学連携による知のプラットフォーム形成事業として、四国の国立5大学は相互に連携し、各大学の e-Learning 基盤を活用して「四国地区における5国立大学連携構想」の中の大学教育を共同実施している (以下、本事業を「知プラe」と呼ぶ)。知プラeはこの取り組みにより連携大学全体の教育の質の向上を図ってきた。現在60科目を超える e-Learning 科目を連携大学で共有し、7,000名近い履修者となっている。本講演では知プラe事業の理念、組織、システム、実績など様々な角度から紹介する。
14:35~14:45	休憩
14:45~15:25	[3] 「九州大学におけるラーニングアナリティクスの現在と未来」 木實 新一 (九州大学) 九州大学では、ラーニングアナリティクス (LA) による教育学習の分析・改善が可能な M2B (みつば) と呼ばれるシステムを導入し、全学規模で運用を行っている。本講演では、大学における LA の1つの事例として、M2B システムの現状と今後の展開・課題について述べる。学習ログデータを集約・可視化し教師や学習者にフィードバックを行う具体例を示し、そうした方法によって効果的に教育・学習の改善を行うために考慮すべきいくつかの点について議論する。

15:25~16:05	<p>[4]「JMOOC 公認プラットフォーム「Fisdom」～学内システムとの連携可能性～」 松永 義昭 (富士通株式会社)</p> <p>JMOOC 公認プラットフォーム「Fisdom」は、MOOC(Massive Open Online Course : 大規模公開オンライン講座)と SPOC(Small Private Online Course : 小規模個別オンライン講座)を統合したプラットフォームである。「Fisdom」は、受講者の生涯にわたる学びを記録できるため、受講者の様々なライフイベントでの活用が期待できる。大学内の他システムとの連携による価値提供の可能性について述べる。</p>
16:05~16:20	休憩
16:20~17:25	<p>パネルディスカッション： 「それぞれの立場を満足させる教育情報システムとは ～経営・教員・学生～」 モデレータ：長谷川 孝博 (静岡大学) パネリスト：重田 勝介 (北海道大学) パネリスト：林 敏浩 (香川大学) パネリスト：木實 新一 (九州大学) パネリスト：松永 義昭 (富士通株式会社)</p>
17:25~17:30	閉会あいさつ 藤村 丞 (福岡大学)
17:30~17:40	休憩
17:40~19:00	懇親会 (会費 ¥500 は、当日受付にて申し受けます) 会場後方にて立食形式の簡易懇親会です。お気軽にご参加ください。

■ アクセス

汐留シティセンター1階ロビー富士通受付にお立ち寄りいただく必要はございません。低層階用エレベーターをご利用いただき、6階「User Community Salon」と記載されている自動ドアからお入りください。会場受付にて Guest Card をお受取りください。

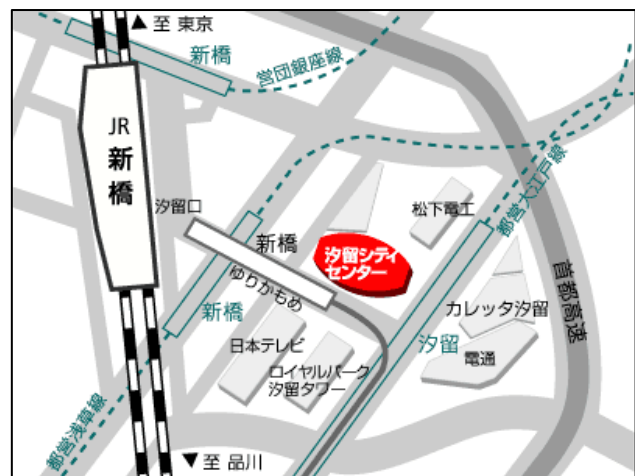
<http://jp.fujitsu.com/facilities/shiodome/>

《《電車でのアクセス》》

- ・ JR 新橋駅
汐留口(地下1階)から徒歩3分
- ・ 東京メトロ 銀座線 新橋駅
出口4 (地下1階) から徒歩3分
- ・ 都営地下鉄 浅草線 新橋駅
汐留方面出口 (地下1階) から徒歩2分
- ・ 都営地下鉄 大江戸線 汐留駅
JR・ゆりかもめ新橋駅方面出口(地下2階)から徒歩1分
- ・ 新交通ゆりかもめ 新橋駅
出口1Dから徒歩1分

《《羽田空港から新橋駅までのアクセス》》

- ・ 東京モノレールと JR 山手線
羽田空港 から 浜松町 経由 新橋駅 (所要時間約 30 分)
- ・ 京浜急行と都営浅草線 (直通電車)
羽田空港 から 都営浅草線新橋駅 (所要時間約 30 分)



■ ご参加について

- 参加対象 : ご興味がある方ならどなたでもご参加いただけます。
(SS 研会員外のコンピュータベンダの方の懇親会への参加はご遠慮いただきます)
- 参加費 : 無料 (懇親会については 会費 ¥500 を申し受けます。)

■ 詳細・お申し込み

SS 研 Web サイトからお申し込みください。

<http://www.sken.gr.jp/MAINSITE/>



【お問合せ先】

サイエンティフィック・システム研究会 (SS 研) 事務局
〒105-7123 東京都港区東新橋 1-5-2 汐留シティセンター
富士通株式会社 カスタマーリレーション部内

TEL : 03-6252-2582(直通)

Email : fj-ss-staff@dl.jp.fujitsu.com

URL : <http://www.sken.gr.jp/MAINSITE/>